

## II 本部よりのご連絡とご報告

### 1. 同窓会連合会第10回全国大会開催の案内

＊ ＊有馬会長にもご講演頂くことになり、式次第を調整中。＊ ＊

- (1) 日時：2019年10月18日(金) 18:30～20:30
- (2) 場所：学士会館(神田) 202号(昨年の320号室より変更) TEL:03-3292-5936
- (3) 全国大会式次第：
  - (幹事会 16:30 受付開始 17:00～17:50 同会場)
  - I 17:55～ プレ・オープニング (長寄事務局長より本日の予定等説明)
  - II 18:00～19:00 講演会 (1卓8～9名を設定、全員着席。配布の各卓メンバー参照)
    - (1) 18:00～18:03 開会挨拶
    - (2) 有馬会長ご講演 18:05～18:25 (20分)
    - (3) 五神総長ご講演 18:25～19:00 (20分)
  - III 19:00～19:10 記念写真撮影(3列)
  - IV 懇親会 19:10～20:30 立食・卓 (各卓に寿司桶)
    - (1) 19:10～19:15 懇親会開会挨拶・乾杯
    - (2) 19:15～19:35 懇談
    - (3) 19:35～20:15 懇談と出席者の一言挨拶  
来賓他、初めての参加者など20名以上にステージで一言ずつ願います。
    - (4) 20:15～20:20 エール「ただひとつ」 斉唱
    - (5) 20:30 中締
- (4) 会費(懇親会会費として)
 

連合会会員(連合会未入会含む)・会員同伴社会人	5千円
会員ご家族・海外同窓会役員(在京含む)・会員同伴学生	2千円

＊五神総長著「大学の未来地図～知識集約型社会を創る」(ちくま新書)をまだ購読されていない方優先で50冊まで配布いたします。

### 2. ホームカミングデイ(10月19日)の連合会企画

本年のホームカミングデイでは、連合会用テントを設け、① 地域同窓会入会勧誘(神奈川・千葉等、入会活動を希望する会)、② 在京県人会設立呼びかけ、③ 岩手県三陸鉄道応援キャンペーン、④ 東大新聞母校寄贈キャンペーン等を行うことにしました。本部は人手不足ですので、ホームカミングデイ見学がてら、テントにお立ち寄り頂き、短時間でもお手伝い頂ければ幸いです。

### 3. 校友会との協働プロジェクト

- ・ 8月1日の連合会本部開所記念懇親会の前、15:30より、東京・関西・神奈川・千葉・埼玉・山口・鎌倉及び本部の役員・幹事16名の出席を得て、連合会運営委員会を開催し、7月5日に開催された校友会役員会の議事要旨を説明し、今後の方針を議論した。
- ・ 9月19日(木)16時より17時まで、本部事務局に、大学・同窓会より12名が集まり、第一回の合同プロジェクトミーティングが開催された(17時以降は、一部出席者の退席の後、自由談義の懇親会となった)。
- ・ 大学(5)：(校友会)神澤事務局長、藤吉校友会幹事長、沢田大塚会長秘書、(大学)島田卒業生部門長、金吉卒業生課長、地域(4)：関西東大会北会長、埼玉銀杏会露無代表幹事、在京山口東大会椿幹事、千葉銀杏会佐々木事務局長、本部(3)：岡崎代表幹事・反町監事・長寄事務局長。
- ・ 校友会・連合会の大同団結のイメージにつき、連合会名称の変更、校友会との統合、校友会との合併の各案につき検討された。その他、校友会の自主財政・自主ガバナンス確立等も議論された。今後詰める点は多々あるが、「将来の同窓会のあるべき姿を固め、できることからやる」、また、「総長任期中の校友会・連合会の大同団結は、後任総長への良い土産になる」との校友会役員会での五神総長発言は重く受け止めるべきで、2020年5月の連合会総会、7月の校友会役員会への具体案提出を目指す、本年12月中までに数回集まりプロジェクトチームで具体案をまとめる必要がある」との認識では概ね一致した。次回ミーティングは10月28日(月)本部事務局にて16時から開催予定。

### 4. 静岡中部銀杏会再興の動き

静岡県で現在は東静岡銀杏会(沼津市近辺)と浜松銀杏会(浜松市近辺)が活動中で、老舗の静岡中部銀杏会(静岡

市近辺)は2012に閉会していましたが、静岡県在の有志が再興の旗を掲げました。本部では、年内に設立有志会を開催すべく、東大新聞、学士会などを通じて有志募集の広報を開始しました。お近くに静岡市近辺の卒業生がおられましたら、ご紹介ください。

## 5. 本部出席の地域同窓会報告

9月は、本部は、栃木銀杏会、奈良東大会、佐賀赤門会、福岡銀杏会、浜松銀杏会、岩手赤門会の総会に出席し、遅れ気味ですが出席報告はⅢ部「地域ではどんな活動をしている」に順次地域別に掲載しますので、ご参照ください。一部報告は次号に掲載します。

## 6. 東京大学新聞定期購読の母校寄贈キャンペーンご協力を

前号でご案内した、「地方高校生に大学や東京での学生生活の情報を届け、(特に女子学生の)東大進学を支援する」ための東大新聞定期購読寄贈キャンペーン呼びかけに対し、今日までで、鎌倉淡青会(愛知県立刈谷高等学校)、山形赤門会(山形東高校)、栃木銀杏会(宇都宮短期大学付属高校)、東海銀杏会(会としてお試し購読)、東静銀杏会(静岡県立沼津東高等学校)兵庫東大会(兵庫県立長田高等学校)、計6校の申込を頂きました。

自主費用で東大新聞を購読するとなると、なぜ東大だけとの声も出るようで、東大同窓会が間に入って寄贈することは高校も喜んでいよう。ご関心のある方は、連合会本部までご連絡ください。

- ・ 東大新聞は10,000部が発行され、学生・院生・研究生が約70%、東大OB・OG・家族は約10%、購読者の9割が定期購読者で、100校ほどの高校が定期購読しておりますが、年間42回の紙媒体での東大生関係にターゲットを絞った広報手段の価値はもっとあるはず。
- ・ 10月からの消費税増で定期購読料金は、(1年間)¥7,400・(2年間)¥14,400が適用されます。
- ・ 尚、このキャンペーン効果か、東京大学新聞のToday Walkerというコラムに同窓会イベントなどの案内を掲載頂く仕組みができました。ぜひご活用ください。

## 7. 東大の歌CD 無料配布

- ・ 連合会本部では、だいぶ以前、応援部とコーラアカデミー現役OBの協力で制作した大学の歌(大空と、ただ一つ、その他)のCD(コピー版)を各同窓会事務局にお送りしましたが、最近の各地の同窓会総会にて「ただひとつ」をアカペラで歌っている会がまだあるようです。上記CDでは、「ただひとつ」を上品に歌曲として歌うコーラアカデミー版と、応援エール形式の応援部版(従い、ステージでエールを行うのに適している)の両方が入って、お好みで選択できます。
- ・ 本部にはCDがまだありますので、ご希望の会(紛失した場合も可)にはお送りしますので、ご連絡ください。事務局以外に送る場合は住所をご連絡ください。

## 8. ダイワロイネットホテル法人会員

- ・ ご案内のように、当会は大和ハウス工業のマンション事業部と提携して、当会会員・ご家族が同社のマンション購入される場合(適切な手続が必要)、1%割引する制度を導入しております。併せ、協賛広告(50万円)も頂いております。
- ・ この度、この提携を同社グループの全国に展開するホテルチェーン「ダイワロイネットホテルズ」に拡大、同チェーンに連合会が法人会員として登録しました。この結果、連合会本部のみならず、地域同窓会の皆様は(ご家族・友人も)、料金割引、ポイント還元などの優遇条件で宿泊できますので、ご出張等に大変便利かと思えます。ご活用ください。
- ・ 予約方法は、ダイワロイネットホテルズ(ログイン用)ホームページに入り、連合会用のパスワード(会員事務局に連絡済です)でお問い合わせください)でログインして、予約詳細に進み、個人情報に記載の上、法人会員用部屋枠から予約します。年会費無しですので、適宜ご活用ください。

## 9. 五神総長の著「大学の未来地図～知識集約型社会を創る」の勧め



- 第1章 まずは大人が頑張ろう  
 第2章 これから世界はどう変わるのか  
 第3章 強力な社会インフラとしての大学  
 第4章 ビジネスパートナーとしての大学  
 第5章 大学は面白い！  
 第6章 東大の経営改革  
 第7章 研究に打ち込める大学へ

五神 真 著  
 ちくま新書 新書判 208頁

刊行 2月5日  
 ISBN 9784480072016  
 本体 760 円+税

「大学の未来地図～知識集約型社会を創る」(ちくま新書・本体価格760円+税)を全ての会員同窓会会長・事務局に配布しました。

帯紙には「今こそ、大学の出番！ 大学のポテンシャルを社会変革へと結びつけることで、日本はまだまだ闘える～東京大学総長によるまったく新しい大学論！」とあります。

総長著書で文庫本になったのは初めての試みです。東京大学という大きな船の役割を認識し、より喫緊の実に多くの問題解決を優先する総長の取り組みが、とてもわかりやすい文章と時々のソフトなコラム等を通じてよく理解でき、同窓会の在り方をも考えるきっかけになると思います。

同窓会関係者としては必読の書としてお勧めです。

## 10. 在京の会促進～選択的に且つ積極的に推進

この数年、在京の地方学生・卒業生・教職員の集まり、特に新入生歓迎の会は、徳島、鳥取、山口の三県以上に拡がっておりません。地方にいる卒業生・在京の地方出身者の絆の強化は大切です。本部としては、大学・県人会・学士会などのルートを通じて、東京より離れた県を中心に選択的に在京の会設立を推進したいと考えております。ご協力お願いします。

## 11. 東京六大学交流促進

東京六大学交流は東大同窓会設立の契機となったケースが多く、会の活性化という点からは、お互いの総会などへの一部役員相互出席を一步進めて、各校が幹事持ち回りで行う六大学主催の集まり(新年会やゴルフ大会など)など、より多くの会員が参加する企画の推進が会員増のためにも効果的と思います。本部では、かねてより関係を深めている法政同窓会との話し合いを始めた。